

## 石見公民館（地域学校協働プログラム）

|   |  |
|---|--|
| <p>【活動名】<br/>【活動の主体・エリア】</p>  | <p><b>ごみ減らし大作戦</b><br/>～石見公民館エリア地域住民 石見小学校4年生 浜田市環境課～</p>  |
| <p>【めあて・目標】</p>   | <p>ごみの量や処分の仕方を調べる活動を通して、環境に与える影響や消費活動のあり方を学び、物を最後まで扱おうとする心を育てるとともに、ごみを減らす工夫を考え、地域に発信していこうとする態度を育てる。</p>  |
| <p>【子どもたちに身に付けさせたい力】</p>  | <p>郷土愛、向上心 地域の良さを知り他者に伝える。<br/>地域に貢献できることを考え行動しようとする。</p>  |
| <p>活動日時・場所：令和2年10月6日～12月17日（計5回） 石見小学校 4年生教室、体育館、校庭<br/>石見小学校の地域学校協働プログラム。昨年度に続き2年目の活動～4年生が、浜田市環境課、ごみ処分場スタッフ、地域住民から話を聞いたり、調べたりすることから、ごみを減らす工夫を考え、実践する。</p> <p>◆ 打合せ：10/6 石見小 参加者：4年部担任、教頭、環境課職員、CNの5名～総合的な学習の時間の計画案を基に、学習課題、進め方、担当や役割、地域の関わり方などを打合せ、準備を進める。</p> <p>◆ プログラムの内容</p> <p>① ごみが増えるとなぜいけないの（10/13）～環境課(森下さん)と</p> <p>② ごみが増えると困ることを考えよう（10/19）～環境課、リサイクルセンター職員が来校し、校庭でバッカー車体験とごみ処理の話</p> <p>③ ごみを減らすためのヒントを考えよう（10/30）～地域住民とグループワーク。<br/>昔の暮らし方、ごみ処理をどのようにしていたかについて児童からの質問に答える。（事前に質問内容をまとめて地域の方にお渡しする）</p> <p>④ わが家のごみ減らし大作戦を考えよう（11/6）～環境課と(ごみの分別、捨て方、食品ロスについて) →この後、児童は各家庭において大作戦を実践。</p> <p>⑤ 実践報告会（12/17）～環境課職員2名、③に参加した地域住民、CNが来校し、児童の取り組みの成果について発表を聞く。地域から感想や気づきを伝える。</p> <p>◆ 地域住民の学びのプロセス</p> <p>1. 石見公民館事業、地域デビュー講座『環境について学ぼう』（10/21）～環境課職員、処分場職員の話、不燃物処理場とリサイクルセンターの見学。</p> <p>2. 1の地域住民のうち10名が4年生の学習③に参加し、自身の経験や知識をもとに児童の質問に答えて頂く。</p> <p>3. ⑤実践報告会に参加～児童の発表を聞いた後、地域から感想などを伝える。</p> <p>4. 地域の振り返り(12/23)～4年生の活動に参加した地域住民と環境課職員、感想、自身の学びや取組んでいることなどを伝え合う。この場での内容を今後まとめ、成果物を作る予定。</p> |  |
| <p>講師ボランティア<br/>関わった団体・組織・機関等</p>   | <p>石見公民館地域デビュー講座『環境について学ぼう』参加した地域住民10名<br/>浜田市環境課 リサイクルセンター</p>  |
| <p>振り返り<br/>(良かったこと、反省点 など)</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域より～公民館事業での学びが学校で活かされ、自身の環境への関心も高まった。自分のできることを考え取り組みを続けることが大切だと感じた。子ども達の学ぶ姿にとっても刺激を受けた。このような活動を続け、もっと大人も参加できると良い。</li> <li>・環境課より～処分場サイドはできる限り協力したいと積極的な提案もあった。連携して打合せ準備を行いたい。多忙な学校との連携には提案や打合せの工夫も必要と思う。</li> <li>・CNより～公民館事業に参加した地域住民が、その学びを学校で活かし、そこで児童と活動することで、さらに環境への意識やごみを減らす行動、次への学びに向う姿勢が伺えた。限られた時間の中で学校との協働をどのように継続していくか、また地域においても、大人の次のステップを確実に進めていく学びの場を考えたい。</li> </ul> |



《グループワーク》



《実践報告会》



《地域デビュー講座》



《地域の振り返り》